



# 井上道義の未来だった今より

## ♪ 冷戦を越えて

いしかわスクエア

サンクトペテルブルク交響楽団とロシアの作品で日本のツアーを金沢から始めるので、4月14日(日)午後2時、県立音楽堂にぜひ聞きに来て欲しい!

思えば17歳の頃、1964年に桐朋学園の恩師斉藤秀雄に連れられての米国演奏旅行で経済的豊かさを体験。ロサンゼルスでUCLAでは底抜けに明るい学生たちとも交流、手の先まで真っ黒の黒人との握手の初体験での自分の一瞬のためらい、マンハッタンのホテルでは夜通し絶えることのないボリスのサイレン、を思い出す。

その後74年、27歳の時に一人指揮演奏旅行をした時のソビエト国家の個人への異常な締め付け、国境での人々の敵対心を含んだ顔の暗さ、ラトビアやウクライナに行った時の通訳のうろたえ方から、巨大国家の建前が不可能な現実を肌で感じた。一党独裁下でのルーマニアや東欧の忍耐強い人々の国で若い僕の

音楽は培われていった。時は流れ、ショスタコービチという20世紀最高の交響曲作家の作品群を、あの頃はほとんどが男性ばかりだった京響と共に忍耐強く、その音楽の深さを発見もした。

2007年、我が国のショスタコービチ演奏の大きなきっかけとなったと断言できる日比谷公会堂での全曲演奏会も経験した僕が、今回はOEKでは出来ない第5番やチャイコフスキーのバレエ音楽などを演奏する。

今、ソビエトはなく、東側西側さえなくなり、欧州は曲がりなりにも一つだ。しかし国という組織や民族が闘いを外に向ける図式は変わっていない。しかし、いつの時代でもどこでも人々の愛する音楽は国境を越えている。僕という存在もそのために生まれたとしか思えない。西でも東でも敵でも味方でもない。  
(オーケストラ・アンサンブル) 金沢音楽監督

### 通信講座の受講者募集



朝日カルチャーセンター 朝日JTB-文芸文化館

通信講座の受講者を募集中です。作品提出は月1回、受講料は6カ月、教材費込み。  
◇発想を豊かにする文章教室 元朝日新聞論説委員の白井健氏が指導。「読まれる文章」を目指し、考えを深める。1万9200円。  
◇文章教室 800字の作品を元朝日新聞記者の講師陣が添削。監修は「天声人語」元筆者の栗田直氏。2万5000円。  
◇やさしい短歌入門 歌人の米川千鶴子氏が指導。初心者用のテキストと課題に沿って実作と鑑賞の両方を学ぶ。1万9900円。  
◇はじめての俳句 「鷹」主宰の小川軽舟氏が監修。俳句の基本になる典型的な「型」

資料請求先 03-33344-2527 (日曜・祝日は休み) 〒163-0278 新宿住友ビル私書箱21号 朝日カルチャーセンター通信講座課 <http://www.asahiculture.com/sushin>  
を製作とともに身につける。1万9900円。  
◇水墨画のはがき絵 墨のうすめ方や筆の動かし方を基礎から学び、草花を中心とした季節感のある作品を描く。2万2000円。  
このほか心を伝える手紙◇世界史◇漢文入門◇古文書◇哲学◇聖書◇文芸創作入門◇エッセイ◇新聞コラムを読み考える◇童話◇漢詩◇川柳◇翻訳◇英語俳句◇ゼロからの英文◇写真◇書道◇株式会社など約40講座があります。

があった。日本の児童たちが、金沢工専や金沢工大の准教授から指導を受けながら、車体を自分たちでデザインした。  
科学技術を楽しんで学んで、もうおとど大学が企画し、定期的に各地の小学校を訪問している。准教授たち

専の学生が授業の教材用に制作したという。クレヨンなどでデザインした車に、ドライバーを向けて前後に走らせると、児童たちは驚いた表情で見つめていた。動物を描いた岩結音さん(9)は「初めて知ったことが多かった。家で

もやってみよう。」 (小川崇)

なつのははききく 秋の花がさく。つきは冬花がすくなくいきせつだけど いきている花もある きせつにびつたりな花はずっとわくわくしている

### ベルマークだより

【2月の運動】

◇設備購入資金を取得 金沢市 認可保育所未来のひろば、すずらん保育園、神田保育園、鞍月小、十一屋小、材木町小、中央小、金沢大付属特別支援学校、四十万小▽小松市 芦城小▽白山市 広陽小▽野々市市 館野小、県立明和特別支援学校▽津幡町 徳野学園津幡とくの幼稚園▽志賀町 志賀中  
◇預金で設備品を注文 金沢市 薬師谷保育所▽羽咋市 羽咋小▽野々市市 県立明和特別支援学校▽津幡町 つばた幼稚園  
【問い合わせ先】電話03・51480・7000

金沢市野所

〈係から〉 金沢市片町1の1

